

**社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク  
2023年度 事業計画書(23年5月23日 総会承認)**

**<実施期間>**

2023年4月1日～2024年3月31日

**<2023年度の方針>**

2008年の設立以来16年目を迎える本年度は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)によって、さらに深刻化した課題への対応とともに、SDGsの達成や持続可能な成長の実現に向けた本質的な取り組みを促すために、多様な主体による連携を、特に地域において推進できるよう、働きかける。

**(1)NPO/NGOが自ら取り組む社会的責任(以下、SR)の普及**

NPO/NGOが自らの組織で取り組むSRを推進するため、具体的な取り組みを紹介し共有する機会を広げる。

**(2)他セクターとの協働によるSRの普及**

さまざまなセクターと連携してSRへの取り組みを促進するべく、NPO/NGOの取り組みや成果を他セクターと共有し、また他セクターの取り組みからも学ぶとともに、他セクターのSRへの取り組みを促すNPO/NGOを育成・支援する。

**(3)社会的影響の大きい課題に対するマルチステークホルダープロセスの推進とアドボカシー(政策提言)の強化**

SDGsや社会的孤立をはじめとする社会的な影響が大きい課題に対して、マルチステークホルダープロセスにより社会的責任が果たされることに尽力するとともに、その課題の重要性と具体策を提言するとともに、地球環境や貧困などの国際的な課題へのアプローチにおいてもSRへの配慮がなされること、またその担い手自身が社会的責任を果たすことの必要性を訴える。

上記方針を実現することを目的としつつ、下記のプロジェクトを中心として、フォーラムやセミナーなどは対面とオンラインのハイブリッド開催とし、また、会費徴収については、2020年・21年度・22年度に引き続き今年度も見合わせることをとする。

一方、20年度以降も事業を継続し、講師謝金等の経費支出が続いていることから、24年度からは会費の徴収を再開する方向とし、次年度の総会開催時に改めて提案したい。

**<2023年度の事業計画>**

**(1)社会責任に関連する規格の策定・普及(主担当幹事団体: 難民を助ける会)**

1.「ISO26000 Stakeholders Global Network(SGN)」のNGOメンバーとして、NNネット代表協議者(堀江)が参加する。ISO26000または社会的責任に関連する新たな規格の策定に向けて動きがある場合には、NGOセクターの意見を集約するとともに、他セクターを交えた議論の場に参加し、国内で共有の機会を設ける。

2.SGNを日本国内でフォローアップし、国内で他のステークホルダー(SJN:ステークホルダー・ジャパン・ネットワークメンバー)間での情報・意見交換を行う。

3.ハンドブック『これからのSR—社会的責任から社会的信頼へ』、『策定に関わったNPOが読み解くISO26000』を関連イベントやホームページを通じて積極的に販売、または配付し、SRへの取り組みを推進する。

**(2)地域における多様な主体によるSR推進(主担当幹事団体:IIHOE)**

1.「地域における多様な主体によるSR推進プロジェクト」として、「多様な主体の協働で進めるSDGs」「マルチステークホルダー連携」などのテーマでのセミナーや事例共有会等の開催をNNネットの地域会員団体、および関係する団体に対して呼びかけ、地域で本テーマに関するセミナー等を開催する。

**(3)NPO/NGOの社会責任(NSR)への取り組み推進(主担当幹事団体:ひろしまNPOセンター、IIHOE)**

## 1. NPO/NGOの社会責任(NSR)に関する啓発

NPO/NGOが社会的な信頼を獲得し、他セクターと協働して社会的課題を解決していくために必須であるNPO/NGO自身の社会責任への取り組みの必要性や実践事例、調査結果の共有などを通じて啓発するために、他の団体やネットワークと連携して、セミナー等を開催する。

**(4)SDGsと社会的責任(主担当幹事団体:難民を助ける会、北海道国際交流センター)**

1. SDG市民社会ネットワークの社会的責任ユニットに参加する。政府が発表している「SDGsアクションプラン」に対する評価をはじめ、同ネットワークが行う政策提言活動に関し、社会的責任の観点からインプットを行う。

## 2.SRフォーラム 2023「あと7年、SDGsへの取り組みをどう進めるか？」

目的:2030年を期限とするSDGs達成に向けて、これまでもNNネットは、社会責任、マルチ・ステークホルダー・プロセス、公共調達といった観点から、働きかけを続けてきた。しかし、すでに残り期間半分を切った今、これからどう取り組めばよいのか。国としての取り組みの在り方・進め方に関する課題や、地域においてどのように取り組みとしくみづくりを促すかについてご発題いただき、登壇者間の討論や、ご参加者からの取り組み状況共有、質疑応答を通じて深めていく。

日時:2023年5月23日(火)18:00~20:00

開催形式:対面とオンラインのハイブリッド形式

会場:地球環境パートナーシッププラザ(GEOC) 東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル1F

zoomミーティングトピック: SRフォーラム2023「あと7年、SDGsへの取り組みをどう進めるか？」

時間: 2023年5月23日 06:00 PM 大阪、札幌、東京

<https://us02web.zoom.us/j/85895905841?pwd=enU1bUFLZFhwS040UFdjaGZmaFZmUT09>

ミーティングID: 858 9590 5841

パスコード: SRforum23

定員:会場:20名、オンライン:90名 いずれも先着順

ご参加費:無料

お申し込み:

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSczvSoRTMIH8bMIkDzRaAoO48nGVOULY\\_QOc\\_VU9Q5dj6VFjw/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSczvSoRTMIH8bMIkDzRaAoO48nGVOULY_QOc_VU9Q5dj6VFjw/viewform)

## 主な内容

発題①「世界はいま『ポリクライシス』:7年後に『持続可能』のパラダイムにたどり着くために」

稲場雅紀氏((特)アフリカ日本協議会 共同代表)

1969年生。90年代に横浜・寿町の日雇労働組合の医療班の事務局責任者を務め、医療・生活相談などを担当。また、同時期に自身ゲイであることからLGBTの人権運動やエイズの問題などに取り組む。2002年より(特活)アフリカ日本協議会の国際保健ディレクターとして、途上国の感染症・保健問題に政策面から関わり、同分野の日本のNGOの連携と政策提言を主導。2009年より「ミレニアム開発目標」(MDGs)の実現を目指すNGOネットワークの責任者を務めた後、2017年、一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク設立に関与、SDGs達成のためのNGOの連携や政策提言に従事。共著書に「SDGs 危機の時代の羅針盤」(岩波新書、2020)「『対テロ戦争』と現代世界」(木戸衛一編、お茶の水書房)などがある。

発題②「SDGsをテコにした当事者による政策提言や民間協業の加速

~2030年の先を見た地域づくりのために~」

石原達也氏((特)岡山NPOセンター、SDGsネットワークおかやま)

2001年学生によるNPO法人設立に参画。活動の支援者を志すようになり、2003年鳥取市社会福祉協議会に入職し、NPO相談や各種企画運営を経験した後、岡山に帰郷してNPO法人岡山NPOセンターに転職(現在、

代表理事)。以降、地域に必要な機能としてNPO法人みんなの集落研究所(代表執行役)、PS瀬戸内株式会社(代表取締役)、(一社)北長瀬エリアマネジメント(代表理事)、SDGsネットワークおかやま(会長)等を設立。平成30年7月豪雨では災害支援ネットワークおかやまを設立。以降、災害支援にも取り組む。社会の「仕組み屋」として、まちづくりや社会事業の起業や仕組みづくり、企業・NPO・大学等の枠を超えた連携プロジェクトのファシリテートに取り組む。

発題③「多様な主体や世代の協働で取り組むSDGsとその先の難しさ」  
松原裕樹氏(NNネット幹事、(特)ひろしまNPOセンター)

登壇者間の討論、ご参加者からの取り組み状況共有、質疑応答  
(担当:川北秀人(NNネット幹事、IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]))

3. SDGsの趣旨や実践を地域において共有するための機会に積極的に参加・協力する。北海道国際交流センターが主催するSDGsイベント(9月16日・17日開催予定)に、2020・21・22年度に続いて協力するとともに、他の地域で開催される企画にも協力する。

なお、今年度のSRフォーラムならびにSRセミナーについては、現時点では以下の通り計画・検討している。

日時(開催形式)	テーマなど
4月17日(月)09:30-11:30 (対面)広島国際会議場 ダリア1	SRセミナー 特別編「みんなの市民サミット2023」 「公共調達における社会責任調達を推進するために」
5月23日(水)18:00-20:00 (オンライン)	SRフォーラム「あと7年、SDGsへの取り組みをどう進めるか？」
7月18日(火)18:00-20:00 対面とオンラインのハイブリッド想定	SRセミナー 第1回 (テーマ協議中、G7/C7のふりかえり関連を想定)
※参考:開催協力 9月16日(土)・17日(日)	北海道国際交流センター主催 SDGsマルシェVol.5(函館蔦屋書店)
9月19日(火)18:00-20:00 対面とオンラインのハイブリッド想定	SRセミナー第2回 (テーマ協議中、NPO/NGOの社会責任(NSR)関連を想定)
11月14日(火)18:00-20:00 (開催形式未定)	SRセミナー第3回 (テーマ協議中、ISO26000関連を想定)
23年3月12日(火)18:00-20:00 (開催形式未定)	SRセミナー 第4回(テーマ協議中※)

※協議中のテーマとして、ビジネスと人権、行政による社会責任調達(公共調達の社会責任対応)の推進などが挙げられる。

## 2023年度組織運営(事務局業務)計画

## &lt;実施期間&gt;

2023年4月1日～2024年3月31日

## &lt;業務計画&gt;

## 1. 会議等の開催

## (1)第16回 通常総会の開催

日時:2023年5月23日(火)15:00～17:00

会場:※EPO ハイブリッド開催

## zoomミーティング

トピック: 社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク(NNネット)第16回通常総会

時間: 2023年5月23日 03:00 PM 大阪、札幌、東京

<https://us02web.zoom.us/j/83746590666?pwd=RXMvMURzQ0Z3ajBJK0pDR1NLdlgrZz09>

ミーティングID: 837 4659 0666

パスコード: NNnetGA

## 議題:

- ・2022年度事業報告(案)・決算(案)の承認
- ・2023年度事業計画(案)・予算(案)の承認
- ・その他

## (2)幹事会の開催

- ・第154回幹事会 4月18日(火)14:30-16:00 オンライン開催
- ・第155回幹事会 5月23日(火)14:00-14:30 ハイブリッド開催
- ・第156回幹事会 7月18日(火)14:30-16:00 (開催形式未定)
- ・第157回幹事会 9月19日(火)14:30-16:00 (開催形式未定)
- ・第158回幹事会 11月14日(火)14:30-16:00 (開催形式未定)
- ・第159回幹事会 2024年01月16日(水)14:30-16:00 (開催形式未定)
- ・第160回幹事会 2024年02月13日(火)14:30-16:00 (開催形式未定)
- ・第161回幹事会 2024年03月12日(火)14:30-16:00 (開催形式未定)

## 2. 会員管理(担当:ひろしまNPOセンター、HIF)

## (1)会員へのフォローアップ

- ・会員の入会、継続、休会等に伴う業務
- ・会員メーリングリストの運営と管理
- ・会員に対して、幹事会終了後、幹事会議事抄録を配信  
(2023年度も、幹事会議事抄録の作成、会員MLへの投稿、ウェブサイトへの掲出は、持ち回りの前回の議長団体が担当。)

## (2)会員データベース管理

- ・会員情報の整理と管理

## (3)会費請求

- ・会員に対して会費の請求書を作成・送付(2023年度も、会費徴収は見合わせ。)

## 3. 会計(担当:IIHOE)

(1)日常的な会計

・管理ルールに従い、入金・支払い・精算等の手続きおよび記録を行う。

(2)資金管理と検査

・現預金などの日常の管理状況を検査する業務を行う。

・決算書の作成を行い、報告する。

・監事による監査を行う。

**4. 広報(担当:ひろしまNPOセンター、IIHOE)**

(1)ウェブサイト管理・運営に関する業務

・ウェブサイトの管理・運営を行う。

・外部からの代表アドレス宛ての問合せに対応する。

**5. 在庫管理(担当:難民を助ける会)**

(1)ハンドブックの在庫管理

・『これからのSR—社会的責任から社会的信頼へ』、『策定に関わったNPOが読み解くISO26000』の在庫の管理を行う。

**6. 幹事会および総会準備に係る事務(担当:IIHOE)**

(1)幹事会開催準備、報告

・幹事会開催の日程調整等

(2023年度も幹事会議事次第作成は持ち回りの議長団体が担当し、議事抄録作成、会員MLへの投稿、ウェブサイトへの掲出は、前回の議長団体が担当。)

(2)総会開催準備

・総会開催にかかる準備、資料作成等

以上